

あいであ & アイデア

らくらくずきん
子牛の捕獲保定が簡単にできる「楽々頭巾」

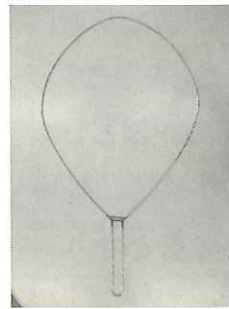
宮島 吉範

酪農家や肉用牛農家の仕事がちょっとだけ楽になるアイテムを紹介したいと思います。読者の皆さんは、子牛をどのように捕まえていますか？たいていはロープで捕まえていると思います。しかし、その方法だとロープが首にかかってからダッシュで逃げるなど、意外とテクニックやパワーを要します。こうした時に今回、紹介する「楽々頭巾」(らくらくずきん)があると大変便利です。

「楽々頭巾」の作り方

楽々頭巾は写真1、2のように直径3mmのステンレス棒の枠部分とポリエステル素材の暗幕で作られた頭巾部分からなっています。枠の部分の直径は約45cm、柄の長さは25cmです。枠の部分はステンレス溶接が必要なので近くの鉄工所で作ってもらっています。頭巾の部分は私の妻に内職で作ってもらっています。

この道具をどのように使うかというと、逃げ回る牛をコーナーに追い込むなどして少し動きを緩めてから写真3、4のように子牛にかぶせます。急に光を失った子牛は動きを止めるか動きが緩慢になります。動き続ける牛もありますが、



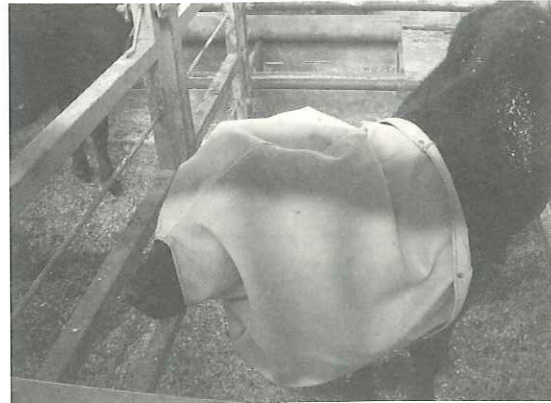
(写真1)直径3mmのステンレス棒の枠部分。棒の部分はステンレス溶接が必要



(写真2)ポリエステル素材の暗幕をくくりつけたら完成



(写真3)子牛にかぶせると、子牛は動きを止めるか動きが緩慢になる



(写真4)体温測定や薬の経口投与くらいなら保定しなくてもすむ

捕まえるのがとても簡単になります。しっかり処置したい時は頭巾の上からロープをかけて保定しますが、体温測定や薬を飲ませるくらいなら保定しなくても作業をすることができます。ちなみに、この道具で捕まえられるのは2ヵ月齢から6ヵ月齢くらいまでの子牛です。

実際に使った感想は？

この道具はとても便利なのですが、農家に紹介すると最初は信じてもらえずに「ふーん、こんなもん」みたいな感じで一蹴に付されます。

そうした時は、「まあまあ、だまされたと思って一回使ってみてください」といって楽々頭巾を置いてきます。すると何日後かにその農家から電話がかかってきます。「あれすごくいいな。とても作業が楽になったよ。一個ちょうだい」。

実際に使っている山口県の繁殖和牛農家兼獣医さんは「これを使い始めてから、子牛に薬を飲ませる時の夫婦喧嘩が少なくなりました」といってくれました。

この楽々頭巾を使って子牛にかかわる作業のいらいらした気持ちが少しでも和らげばいいな、と思っていたのでこうした言葉は本当にうれしいものです。

使い方は経口投与、去勢作業などさまざま

この道具は愛知県内の肉牛肥育農家さんが使っていたものを自分が使いやすいようにアレンジしたものです。その農家さんに出入りする方がこの道具を紹介してくれたとのこと。ということでこの道具は自分がゼロから考え出したアイテムではないということをご承ください。しかし、「こんな便利な道具をみんなに教えてあげたい」、「この世知辛い世の中、少しでも楽しく楽に仕事をして欲しい」という気持ちから、今回このような形で紹介しました。

実際、治療の際にこの道具を使っていると本当に気持ちが楽になります。農家のみなさんは薬の経口投与、去勢、体温測定、鼻紋採取などの際に使っています。われわれ獣医師はワクチンやさまざまな治療の際に使っています。

この道具の良さはなかなか文章では伝わりにくいです。「楽々頭巾」と検索すれば、簡単にホームページ (<http://milky.geocities.jp/rakurakuzukin>) にアクセスでき、実際に子牛を捕まえている様子を動画でみるすることができます。興味のある人はぜひ検索してみてください。簡単に作れそうな気もする道具ですが、作ろうと思うと意外と面倒くさいもので、販売もしています。

(筆者：(有)あかばね動物クリニック 獣医師)

あいであ & アイデア